

平成28年4月入学

理工学研究科博士後期課程

(第三次募集)

一 般 選 拔
社 会 人 特 別 選 拔

茨城大学大学院

はじめに

理工学研究科博士前期課程及び博士後期課程は、理学研究科修士課程と工学研究科修士課程を改組再編して、1995年に発足しました。2004年には、X線、中性子線、レーザー光等の量子ビームに関わる技術者及び研究者を育成するために、応用粒子線科学専攻が研究科に新設されました。2016年には博士前期課程においては、応用粒子線専攻と物質科学専攻ならびに理学専攻の一部を再編し、量子線科学専攻を設置するとともに、博士後期課程の既存6専攻を再編し、量子線科学専攻・複雑系システム科学専攻・社会インフラシステム科学専攻を設置します。

本研究科の博士後期課程を構成する3専攻の教育研究においては、理学と工学の幅広い専門分野を網羅するとともに、以下の能力を有する人材を育成します。

- ・専門分野で求められる高度な知識及び技能に基づき、高度な研究を自立して遂行しうる能力
- ・専門分野に限らず、関連する分野においても課題を自ら発見・解決しうる能力
- ・科学・技術を基盤とする人間社会において、専門分野に基礎をおきながら、経営、環境管理、ならびに組織運営を理解できる能力
- ・科学・技術を基盤とする人間社会において、研究成果を、専門外の人にも説明すると共に、広く国内外に発信しうる能力
- ・専門性を活かすと共に、社会情勢を踏まえて地域の活性化に取り組みうる資質

上記の能力を有する人材育成を目的とし、本研究科では以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 主たる専攻とする科学・技術の専門分野における、修士課程・博士前期課程修了者に求められるの
と同等以上の知識と技能
- (2) 修得した高度な専門知識、技能を活かし、アカデミアに限らず、民間企業、公的機関や教育界など
社会の幅広い分野で活躍することで、地域の活性化に貢献する意欲と熱意

I. 募集人員

専攻名	コース名	入試区分	
		一般選抜	社会人特別選抜
量子線科学	環境放射線科学 物質量子科学 化学・生命 ビームライン科学	若干名	若干名
複雑系システム科学		若干名	若干名
社会インフラシステム科学		若干名	若干名

Ⅱ．出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑨ 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び平成28年3月末までに24歳に達する者

社会人特別選抜に出願できる者は下記のとおりです。

- （1）出願資格①、②、③、④、⑤及び⑥のいずれかに該当する者で、入学時において継続して2年以上の勤務（在職）経験がある者。
- （2）出願資格①、②、③、④、⑤及び⑥のいずれかに該当する者で、入学時に1年以上在職する者。
- （3）出願資格⑦及び⑧のいずれかに該当する者

注：出願資格⑥～⑨のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格認定審査を行いますので、「Ⅵ．出願資格の認定について」を参照の上、出願書類と併せて提出してください。

Ⅲ. 出 願 手 続

一般選抜及び社会人特別選抜に出願を希望する者は、下記により出願してください。

1. 出 願 期 間

平成28年3月14日（月）から3月17日（木）まで

持参する場合 受付時間：9：00～16：00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

電子メール添付の場合 受付期間最終日の16：00【日本標準時(JST)】必着とします。

※試験日までに必ず原紙を提出すること。(持参または郵送すること)
期限までに原紙の提出が無い場合は、受験資格を失います。

2. 提 出 先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（各専攻担当教員一覧に記載）

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5010 電子メール admission.doctor.hitachi@ml.ibaraki.ac.jp

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール admission.doctor.mito@ml.ibaraki.ac.jp

3. 障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、事前に入
学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（工学部または理学部入試係）
に相談してください。

4. 注 意 事 項

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

IV. 出 願 書 類 等

出願に必要な書類等は次のとおりです。なお、募集要項に本学所定の用紙が綴じ込まれてる書類については、その用紙を用いてください。電子メール添付で出願する場合：本学所定の用紙による書類のうち Form1~5 については、ホームページからダウンロードし、記入の上、ファイル形式を変更せずに添付してください；その他の書類についてはスキャンして Adobe Acrobat 形式ファイル(PDF)もしくは JPEG ファイルとしたものを添付してください。なお、スキャンした書類については、原紙を受験日までに、持参もしくは郵送にて提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
入学志願票・履歴書 (Form1)	必要事項を記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票 (Form2)	必要事項を記入し、写真（縦4cm ×横3cm、正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。ただし、電子メール添付により出願する場合は、写真についてはデジタル画像を貼り付けたものでも可とします。
修士学位論文要旨・ 研究経過報告書 (Form3)	<1> 修士の学位取得者は、学位論文の要旨（2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内） <2> 学位の取得見込者は、研究経過報告書 （2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内）
研究及び業務上の 業績調書 (Form4) (*1)	出願資格①、②、③、④及び⑤のいずれかで出願する者は、出願時までの研究業績、学会等での研究発表論文などの業績を記載してください。
研 究 計 画 書 (Form5)	入学後に行うことを予定している研究の概要を記載してください。 （1,000 字以内、英語の場合は 500 words 以内）
振替払込受付明細書 又は 収 納 証 明 書 （ 検 定 料 ）	検定料 3 0, 0 0 0 円 次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。 <u>なお、本学大学院博士前期課程又は修士課程を修了予定で、引き続き本課程に進学を希望する者は、納入する必要はありません。</u> ①金融機関の窓口で納入する場合 ア．別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。 郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。 イ．振替払込受付証明書（お客さま用）と振替払込請求書兼受領証には、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。

振替払込受付明細書
又は 収 納 証 明 書
(検 定 料)

②コンビニエンスストアで納入する場合 (3/14から可能)

ア. 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。

○必ず金融機関窓口にて納入してください。

※ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。

○『振替払込受付証明書(お客さま用)』は、他の出願書類と併せて提出してください。

なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。

○払込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「№」は受験番号ではありません。

イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」を受け取ってください。

ウ. 「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。

エ. 出願期間最終日の納入受付時間は15時までとなりますので、ご注意ください。

③クレジットカードで納入する場合 (3/14から可能)

ア. e-apply(イーアプライ)ホームページ(<http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/>)にアクセスし納入手続きを行ってください。

イ. 手続き完了後、支払完了後に送信される電子メールに記載のあるURLよりアクセスし、PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。電子メール添付にて出願する場合は、「申し込み明細」のPDFを添付してください。

ウ. 「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。

エ. 出願期間最終日の納入受付時間は15時までとなりますので、ご注意ください。

【注意事項】

1. 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。

2. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。

茨城大学財務部財務課経理グループ (電話 029-228-8561)

3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。

(株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター(電話 0120-708898)

出 願 書 類 等	摘 要
学 業 成 績 証 明 書 等	出身大学の学長又は学部長（研究科長）、もしくは出身学校の学校長が作成したもの。 ・ 出願資格①、②、③、④、⑤及び⑥のいずれかで出願する者は、学部及び大学院修士課程または博士前期課程の成績証明書 ・ 出願資格⑦及び⑧のいずれかで出願する者は、学部の成績証明書 ・ 出願資格⑨で出願する者は、最終学校の成績証明書
修了（見込）証明書 （*1）	出願資格①、②、③、④及び⑤のいずれかで出願する者のみ提出してください。
承 諾 書 （Form6）	在職のまま在学しようとする者は、所属長等が作成した承諾書を提出してください。（本学所定の様式を用いること）
在 職 期 間 証 明 書 （Form7）（*1） 【社会人特別選抜志願者のみ】	勤務先の所属長が証明したもの。（本学所定の様式を用いること）
住 民 票 【外国籍の者のみ】	市区町村長が交付したもの。 国籍、在留資格及び在留期間が明記されたもので、出願前1ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 住民票を提出できない場合は、パスポートの写しを提出してください。 出願書類に記入する氏名は、住民票もしくはパスポートに記載のものと同一にしてください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒を用い、住所・氏名及び郵便番号を記入し、362 円分の郵便切手を貼付してください。 <u>※電子メール添付により出願される場合は、不要です。送信元電子メールアドレスに Adobe Acrobat 形式(PDF)にて受験票を送付します。</u>
宛 名 票	本学所定の宛名票に、必要事項を記入してください。

（*1）個別の入学資格審査により出願資格を得た者は、提出を省略することができます。

ただし、個別の入学資格審査を電子メールにより申請した者は、受験日までには必ず原紙を提出すること。

V. 選抜方法・合格者発表等

1. 一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

選 抜 方 法

面接（口述試験を含む）及び出願書類の内容を総合して判定します。

なお、口述試験の内容は、研究分野に関連した科目についての専門的学力及び修士論文等の内容について問います。

入 試 日 時

平成28年3月22日（火）の指定する時間

試 験 場

受験票に記された、下記のいずれかの試験場（試験場を間違えないよう注意してください。）

工学部試験場 茨城県日立市中成沢町4-12-1

理学部試験場 茨城県水戸市文京2-1-1

合 格 者 発 表

平成28年3月25日（金）13:00（予定）

工学部及び理学部掲示板に掲示するとともに、合格者に郵送（速達）により通知します。

電話等による可否の問い合わせには、一切応じることができません。

2. 注 意 事 項

- （1）面接（口述試験を含む）の会場・時間等については、事前に連絡します。
- （2）試験当日は、「受験票」を忘れずに持参してください。
- （3）受験の際の宿泊の斡旋は行いません。
- （4）海外からの受験者で、試験日に来日できない場合は、TV会議システムを用いた試験を許可する場合があります。平成28年3月14日（月）から3月17日（木）の期間に、入学後に主指導教員となることを予定している教員に事前に電子メールで連絡のうえ、当該教員を通して申し出てください。受験者本人からの申し出には応じません。

VI. 出願資格の認定について

出願資格⑥、⑦、⑧もしくは⑨により出願しようとする者は、事前に本研究科の入学試験出願資格認定審査において、出願資格の認定を行いますので、以下により申請手続きをして審査を受けてください。

1. 出願資格認定審査書類

出願に必要な書類は次のとおりです。

入学試験出願資格認定審査申請書及び審査調書	本学所定の用紙 (Form 8)
研究及び業務上の業績調書	本学所定の用紙 (Form 4)
論文の写し等 (該当者のみ)	業績調書に記載した論文の写し
卒業 (修了) 証明書	最終学校の卒業 (修了) 証明書
在職期間証明書	本学所定の用紙 (Form 7)
博士論文研究基礎力審査に係る確認書	在籍している学長が発行したもの ※出願資格⑥により出願しようとする者
返信用封筒	住所・氏名・郵便番号を記入し、362 円分の郵便切手を貼付した長形 3 号の封筒 ※電子メール添付により出願された場合は、不要です。送信元電子メールアドレスに Adobe Acrobat 形式(PDF)にて出願資格認定審査結果を送付します。

注：上記の書類のうち、出願書類に含むものは再度使用します。

2. 出願資格認定審査申請受付期間

平成28年3月14日 (月) から3月17日 (木) まで

持参する場合 受付時間：9：00～16：00

郵送の場合 封筒に「博士後期課程出願資格認定申請書在中」と朱書のうえ、必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

電子メールの場合 件名を「平成28年度4月入学博士後期課程出願資格認定申請 (氏名を記入)」とし、出願書類を Microsoft Word 形式または Adobe Acrobat 形式(PDF)にて提出すること。受付期間最終日の16：00【日本標準時(JST)】必着とします。
※なお、出願資格が認定された場合の原紙の提出については、「III. 出願手続」に記載の注意事項に従ってください。

3. 提出先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」(担当教員一覧に記載)

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5222 電子メール admission.doctor.hitachi@ml.ibaraki.ac.jp

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール admission.doctor.mito@ml.ibaraki.ac.jp

4. 出願資格認定審査結果発表

本人あて郵送 (速達) または電子メールにより通知します。

VII. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士後期課程の入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。

1. 申 込 期 間 等

平成28年4月13日（水）から4月28日（木）

9：00から17：00まで（土・日曜日及び祝日を除く。）

2. 申 込 者

受験者本人に限ります。（代理人は不可）

3. 申 込 方 法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

①本学の受験票

②本人確認のできる書類（運転免許証、パスポート等）

③返信用封筒（長形3号／12.0cm×23.5cm）

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、512円分郵便切手（書留料金含む）を貼り付けてください。

なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申 込 先

茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢4-12-1 または

茨城大学理学部入試係 茨城県水戸市文京2-1-1

5. 開 示 方 法

受験者本人あてに書留郵便で後日送付します。

6. 開示内容

【評価】不合格者には、段階別（3段階）に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者（欠格者は含まない）が5人未満の場合は開示しません。

合格者には、開示しません。

【得点・順位】開示しません。

VIII. 入 学 案 内

1. 入学手続、入学料及び授業料

- (1) 入学手続きの詳細については、別途通知します。
(2) 入学手続きの際に納入する金額は、次のとおりです。

国費外国人留学生は、納入する必要はありません。

入 学 料	2 8 2, 0 0 0 円	本学大学院博士前期課程又は修士課程から引続き進学する者は、 納入する必要はありません。
授 業 料	前期分 2 6 7, 9 0 0 円 年 額 5 3 5, 8 0 0 円	

注 1：入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されることになります。

注 2：在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることになります。

注 3：入学料、授業料の納付が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

2. 修了要件及び学位

理工学研究科博士後期課程を修了するためには、本課程に 3 年以上在学し、各専攻所定の科目について 1 4 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査並びに最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、1 年以上在学すれば足りるものとします。

本研究科博士後期課程を修了した者には、博士（工学）、博士（理学）、博士（学術）のうち、学位論文の内容にふさわしい学位を授与します。

3. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学時から希望する場合は、入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（理学部または工学部入試係のいずれか）にお問い合わせください。

IX. 問い合わせ先

この学生募集要項及び出願に関するお問い合わせは、入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（担当教員一覧に記載）に行ってください。

日立：茨城大学工学部入試係 電話 0 2 9 4－3 8－5 2 2 2

水戸：茨城大学理学部入試係 電話 0 2 9－2 2 8－8 3 3 2

VIII. 各専攻教員 担当分野・出願窓口一覧

1. 量子線科学専攻

コース		氏 名	研究指導分野	出願窓口
環境放射線科学	教 授	田 内 広	遺伝子損傷の修復機構、放射線分子生物学に関する研究	水戸
	〃	立 花 章	放射線による突然変異生成および適応応答の分子機構に関する研究・放射線生物学	水戸
	准教授	中 村 麻 子	老化とがん化に関する細胞生物学的研究	水戸
	(連携大学院)			
	教 授	柿 沼 志 津 子	放射線発がんリスクとそのメカニズムに関する研究	水戸
	〃	木 名 瀬 栄	放射線防護、特に人体影響評価を目的とした放射線及び線量の測定・評価	水戸
	〃	山 口 憲 司	量子ビーム応用科学、原子力工学	水戸
	〃	横 谷 明 徳	放射線照射効果に関する生物物理学的研究	水戸
物質量子科学	教授	伊 賀 文 俊	機能性物質の開発と量子線による物性研究	水戸
	〃	池 田 輝 之	ナノ構造科学、熱電材料、機能材料	日立
	〃	池 畑 隆	プラズマ、イオンビームの発生と応用に関する研究	日立
	〃	岩 本 知 広	粒界・界面、接合工学、電子顕微鏡学、量子線を使った材料組織解析	日立
	〃	太 田 弘 道	熱物性、複合材料の創製と物性評価	日立
	〃	阪 口 真	素粒子論、ゲージ理論、超弦理論	水戸
	〃	篠 嶋 妥	材料実験の計算機シミュレーション、薄膜物性工学	日立
	〃	佐 藤 成 男	量子ビーム回折・散乱による金属ミクロ組織解析学、結晶塑性学	日立
	〃	鈴 木 徹 也	鉄鋼材料、軽金属材料の塑性加工、ミクロ組織制御、中性子回折による検討	日立
	〃	高 橋 東 之	量子ビームを活用した燃料電池材料、超イオン伝導体に関する研究	日立
	〃	中 川 尚 子	統計力学、非線形非平衡系の物理学、理論生物物理学	水戸
	〃	福 井 隆 裕	物性理論	水戸

コース		氏 名	研究指導分野	出願窓口
物質量子科学	〃	藤 原 高 徳	素粒子論、場の理論	水戸
	〃	湊 淳	防災や環境計測を目的として画像処理、ネットワークセンシング、光計測技術などを使いハードウェア技術と情報処理技術との組み合わせによる技術開発	日立
	准教授	桑 原 慶 太 郎	中性子・X線散乱実験による強相関電子系の電子状態に関する微視的研究	水戸
	〃	佐 藤 直 幸	プラズマ理工学からのプラズマ生成・計測・制御とナノテクノロジーへの応用	日立
	〃	西 野 創 一 郎	量子線を利用した機械構造物の健全性評価と材料解析、材料強度学、材料加工学（塑性加工学、接合工学）	日立
	〃	百 武 慶 文	素粒子論、弦理論	水戸
	(連携大学院)			
	教 授	永 目 論 一 郎	核・放射化学：重イオン核反応で合成される超アクチノイド元素のシングルアトムレベルでの化学	水戸
	〃	平 出 哲 也	放射線化学、陽電子（電子の反粒子）・ポジトロニウム（電子と陽電子の結合状態）科学	水戸
化学・生命	教 授	阿 部 修 実	セラミックスおよびセラミックス基複合材料の材料組織設計と解析	日立
	〃	五 十 嵐 淑 郎	超微量分離・計測システムの開発と量子線分析化学に関する研究	日立
	〃	海 野 昌 喜	量子線を使ったタンパク質の構造機能相関の研究・生体高分子特論	日立
	〃	大 友 征 宇	光合成に関わる色素膜タンパク質複合体の構造解析と機能解明	水戸
	〃	木 村 成 伸	電子伝達系タンパクの構造・機能に関する研究とその応用	日立
	〃	久 保 田 俊 夫	有機フッ素化合物の合成、機能評価と量子線を用いる構造解析	日立
	〃	高 妻 孝 光	量子ビームによる金属タンパク質の構造と機能に関する研究・量子生物化学	水戸
	〃	小 林 芳 男	液相法による機能性薄膜および微粒子の合成法の開発と量子線を利用した微細構造解析	日立
	〃	佐 藤 格	天然物化学および天然物合成を指向した有機合成反応の開発	水戸
	〃	西 川 浩 之	分子性導体を中心とした機能性物質の開発と物性に関する研究	水戸
	〃	藤 澤 清 史	生体関連遷移金属モデル錯体の構造と分光学的性質の研究	水戸

コース		氏 名	研究指導分野	出願窓口
化学・生命	教 授	森 聖 治	量子化学を基盤とする化学反応機構に関する理論的研究	水戸
	〃	森 川 敦 司	高分子科学、縮合系高分子の合成	日立
	〃	山 内 智	気相法による薄膜合成とデバイス開発および量子線を利用した構造と機能の解析	日立
	准教授	江 口 美 佳	固体高分子形燃料電池およびリチウムイオン電池の電極材料開発と量子線を利用した構造解析	日立
	〃	北 野 誉	塩基配列の多型解析・系統解析に基づく遺伝子進化の研究	日立
	〃	庄 村 康 人	金属タンパク質の生合成・機能に関する量子線構造化学	日立
	〃	東 美 和 子	分光法及び分子軌道計算を用いた有機材料の電子状態の解明	日立
	〃	福 元 博 基	電子・光機能性π共役高分子の合成・機能評価と量子線を利用した構造解析	日立
	〃	山 口 央	ナノ多孔質材料を利用したナノバイオデバイスの開拓に関する研究	水戸
ビームライン	教 授	大 山 研 司	中性子散乱を利用した材料物性・強相関電子系の研究、および新しい中性子散乱実験法の開発	日立
	〃	小 泉 智	中性子小角散乱を利用したソフトマターの構造と機能に関する研究および新しい中性子散乱装置の開発	日立
	〃	田 中 伊 知 朗	水素・水和水に関する量子線構造生物学と中性子利用法の開発	日立

2. 複雑系システム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
数学・情報数理学	教 授	市 村 文 男	代数的整数論	水戸
	〃	木 村 真 琴	微分幾何学	水戸
	〃	下 村 勝 孝	複素解析学、ポテンシャル論	水戸
	〃	中 井 英 一	実解析学、調和解析学	水戸
	〃	長 谷 川 博	複雑系の非平衡統計力学・カオス時系列解析・人工知能によるデータマイニング	水戸
	〃	堀 内 利 郎	偏微分方程式論（特に楕円型方程式と変分問題の研究）	水戸
	〃	村 重 淳	非線形波動、数値解析	水戸
機能システム科学	教 授	泉 岡 明	分子性磁性体、導電体の構造と物性に関する研究、金ナノ粒子の合成研究	水戸
	〃	折 山 剛	環境調和型有機合成を指向した高効率高選択的反応の開発及び生体関連物質の化学合成に関する研究	水戸
	〃	石 見 幸 男	MCM蛋白質を中心としたヒト細胞DNA複製研究	水戸
	〃	遠 藤 泰 彦	種子植物の分類及び形態の進化に関する研究、多様化機構の解析	水戸
	〃	北 出 理	シロアリ類と共生微生物の生態学・進化学	水戸
	〃	金 幸 夫	時間・空間分解分光法と微小電極を使ったマイクロ分析・化学に関する研究	水戸
	〃	小 島 純 一	カリバチ類の分類、系統関係、社会性進化の研究	水戸
	〃	仁 木 雄 三	ショウジョウバエの発生生物学・生殖生物学	水戸
	〃	山 村 靖 夫	樹木の成長・生活様式と森林の動態に関する研究	水戸
	准教授	大 橋 朗	液界面を反応場として利用した合成、分離、検出法の開発	水戸
	〃	島 崎 優 一	生体関連配位子を用いた金属錯体の合成・反応性に関する研究	水戸
	(連携教員)			
	〃	鈴 木 理	細胞増殖因子の機能とその分子基盤	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
宇宙地球環境システム科学	教 授	安 藤 寿 男	堆積地質学、古生物学（地層形成過程の解明と化石生物の古生態進化の復元）	水戸
	〃	岡 田 誠	古地磁気学、古海洋学、その他堆積物を用いた古環境変動復元に関する研究	水戸
	〃	河 原 純	固体地球物理学（地震波の伝播と地震動の研究）	水戸
	〃	北 和 之	大気環境科学（オゾンなど、地球環境に重要な大気物質の研究）、人工衛星等からの地球大気のリモートセンシング	水戸
	〃	木 村 眞	隕石の形成過程と固体惑星物質に関する研究	水戸
	〃	藤 縄 明 彦	火山地質学、造岩鉱物学、固体地球化学的手法を用いた、マグマを媒体とする地球内物質循環過程の解明	水戸
	〃	百 瀬 宗 武	電波天文学、星・惑星系形成、干渉計技術に関する研究	水戸
	〃	吉 田 龍 生	天体の高エネルギー現象に関する研究	水戸
	准教授	片 桐 秀 明	宇宙高エネルギーガンマ線の観測による宇宙線の研究	水戸
	〃	釣 部 通	理論天体形成論、宇宙流体力学	水戸
	〃	野 澤 恵	太陽観測、シミュレーションを軸に太陽及び天体物理に関する研究	水戸
	〃	米 倉 覚 則	電波天文学、星形成、日立・高萩32m電波望遠鏡を用いた研究	水戸
生産システム	教 授	伊 藤 伸 英	ナノ表面加工、環境調和型加工法	日立
	〃	関 東 康 祐	計算力学、破壊力学	日立
	〃	清 水 淳	マイクロ・ナノトライボロジー、超精密加工	日立
	〃	周 立 波	精密工学、ナノファブリケーション、計測・評価技術	日立
	〃	堀 辺 忠 志	弾性力学、計算力学、き裂の逆解析	日立
	准教授	中 村 雅 史	環境調和型設計、表面改質、高分子材料の強度信頼性	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
材料システム	教 授	伊 藤 吾 朗	塑性加工、熱処理、機械金属材料、水素社会用金属材料	日立
	〃	鵜 殿 治 彦	電子材料、半導体デバイス、シリサイド半導体	日立
	〃	島 影 尚	超伝導エレクトロニクス	日立
	〃	杉 田 龍 二	情報ストレージ技術、磁気記録デバイス	日立
	〃	和 田 達 明	数理工学、統計力学	日立
	准教授	小 峰 啓 史	機能材料工学、デバイス工学	日立
計測・制御システム	教 授	青 島 伸 一	移動ロボットの機構と制御、福祉工学	日立
	〃	乾 正 知	高速・高精度な図形処理技術、図形処理技術の機械製造自動化への応用	日立
	〃	栗 原 和 美	電気・機械エネルギー変換工学、永久磁石モータ	日立
	〃	近 藤 良	制御工学、制御理論、ロボット工学	日立
	〃	長 山 和 亮	生体医工学、メカノバイオロジー、マイクロ・ナノ計測・操作	日立
	〃	馬 場 充	3次元画像計測、知能化センシング	日立
	〃	増 澤 徹	医用メカトロニクス、磁気浮上人工心臓、医用工学	日立
	〃	森 善 一	介護福祉ロボティクス、感性ロボティクス、メカトロニクス	日立
	〃	楊 子 江	不確かさを有するシステムの適応学習制御、制御システムのモデリングと同定	日立
	准教授	道 辻 洋 平	機構ダイナミクス学、鉄道車両のダイナミクスと制御、自動車のITSに関する研究	日立
エネルギーシステム	教 授	稲 垣 照 美	熱工学、赤外線工学、流体力学、環境工学	日立
	〃	垣 本 直 人	電力システム	日立
	〃	金 野 満	エンジン燃焼、次世代燃料、燃焼工学、自動車工学	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
エネルギーシステム	教 授	田 中 伸 厚	数値流体解析（CFD）、複雑流動現象、原子力熱流動、海洋エネルギー	日立
	〃	辻 龍 介	レーザ工学、数値シミュレーション	日立
	〃	柳 平 丈 志	高電圧パルスパワー工学	日立
	准教授	西 泰 行	流体力学、流体機械	日立
	(連携教員)			
	教 授	鈴 木 哲	原子炉構造物の振動・強度	日立
	〃	二 川 正 敏	核融合炉プラズマ対向機器の健全性	日立
	准教授	秋 江 拓 志	新型原子炉工学特論	水戸

3. 社会インフラシステム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
社会インフラ基礎	教 授	岸 義 樹	知識・概念処理、協調型思考支援システム	日立
	〃	新 納 浩 幸	自然言語処理、機械学習、Webアプリケーション	日立
	〃	星 野 修	脳科学、ニューラルネットワーク、数理解神経心理学	日立
	〃	米 倉 達 広	仮想現実感と仮想都市機能、Web応用システム	日立
	准教授	鈴 木 智 也	非線形時系列解析、複雑系、カオス、人工知能	日立
都市・環境インフラシステム	教 授	呉 智 深	計算力学、構造工学、インテリジェントインフラストラクチャ工学、既存構造物のヘルスマニタリング、制御および補強技術	日立
	〃	金 利 昭	交通行動分析と交通政策、生活・交通空間の計画と設計、人間の生涯発達・ライフスタイルからみた国土・地域計画論	日立
	〃	桑 原 祐 史	衛星リモートセンシングデータの処理／解析技術、各種国土情報の計測・解析、CO2濃度と地域特性の分析技術	日立
	〃	坪 井 一 洋	数値流体力学、計算科学、応用数学	日立
	〃	外 岡 秀 行	リモートセンシング、画像処理、空間情報システム	日立
	〃	沼 尾 達 弥	コンクリートのクリープ・乾燥収縮及び耐久性改善、産業廃棄物の利用、赤外線法による非破壊検査	日立
	〃	山 田 稔	道路交通の安全性・円滑性の向上に関する研究、高齢者・障害者にやさしいまちづくり	日立
	〃	横 木 裕 宗	気候変動への沿岸域の影響と適応策、沿岸域環境の物理的解析	日立
	准教授	信 岡 尚 道	海岸・沿岸工学／防災・利用・環境を統合した沿岸管理計画そのための統合シミュレーションモデルの開発	日立
	〃	原 田 隆 郎	社会基盤施設の維持管理工学／AL（人工生命）技術を利用したマネジメントシステムの開発	日立
	〃	藤 田 昌 史	水環境保全・水インフラ技術	日立
	〃	村 上 哲	地盤災害の予測手法の高度化と災害の防止・低減技術の開発	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
情報・通信インフラシステム	教 授	赤 羽 秀 郎	ゆらぎ現象の理論と応用	日立
	〃	今 井 洋	光カオス、テラヘルツ技術、光ファイバセンシング	日立
	〃	上 田 賀 一	ソフトウェア工学、ソフトウェアモデル検証	日立
	〃	梅 比 良 正 弘	ワイヤレスネットワーク、無線応用	日立
	〃	鎌 田 賢	パターンの近似・分析の理論、情報システム応用	日立
	〃	黒 澤 馨	情報セキュリティ	日立
	〃	三 枝 幹 雄	核融合理工学、高周波工学	日立
	〃	武 田 茂 樹	無線通信システム、アンテナシステム	日立
	〃	羽 渕 裕 真	通信の方式と理論に関する研究	日立
	〃	宮 嶋 照 行	通信方式、信号処理	日立
	准教授	木 村 孝 之	撮像デバイス、集積回路	日立
	(連携教員)			
	教 授	泉 田 史	光計測工学特論	日立
	〃	白 木 和 之	アクセス系光ファイバーネットワーク	日立

入 学 志 願 票

Application Form for Admission

提出日 Filing date : 月(Month) _____ 日(Date) _____ 年(Year) _____

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
フリガナ 氏 名 Name			性別 Sex ☐ 男 Male ☐ 女 Female
生年月日 Date of birth	_____ (Age 歳) 月 (Month) 日 (Date) 年 (Year)		
志望専攻名 Desired major			
志望主要研究分野 Desired research field			
志望指導教員名 Expected supervisor			
出 身 校 School attending/attended	_____ 大学 University _____ 学部 Faculty/College _____ 学科 Department		卒業・卒業見込 Date of (expected) Graduation _____ 年(西暦) Year _____ 月 Month
	_____ 大学大学院 University _____ 研究科 Graduate school _____ 専攻(修士・博士)課程 Major of master's program		修了・修了見込 Date of (expected) Graduation _____ 年(西暦) Year _____ 月 Month
現 住 所 Present address	〒 _____	電話 Phone _____	
合格通知書等の 受 信 場 所 Address for notification of the application results	〒 _____	電話 Phone _____	

注意 Note 1. ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.

2. 「合格通知書等の受信場所」は、入学決定までの通知を受ける場所を記入し、変更した場合は、速やかに届け出てください。When the address for notification of the application results is changed, please immediately inform the Admission Office of the College of Science/Engineering of Ibaraki University.

3. 志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。

Please contact in advance the expected supervisor.

履 歴 書

Curriculum Vitae

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月 (April 2016)		受験番号 Examinee No.	※	
氏 名 Name				性別 Sex	☐ 男 Male ☐ 女 Female
学 歴 Educational background	小学校名 Name of Elementary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	中学校名 Name of Secondary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	高等学校名 Name of Upper Secondary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	大学名 Name of University or Equivalent	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	大学院名 Name of Graduate School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
職 歴 Employment record	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years

注意 Note 1. 外国の大学を卒業又は大学院を修了（見込）の者の 以外の者は、高等学校入学時から 記入してください。

Unless the applicant graduated from a foreign university or is expected to graduate a foreign graduate school, please fill the educational background after the graduation of the secondary school.

2. 虚偽の記載をした場合は、入学を取り消すことがあります。

False statement may disqualify your application.

受 験 票
Admission Slip for Examination

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
志望専攻 Desired Major	専 攻 Major		
フリガナ 氏 名 Name			☐ 男 Male ☐ 女 Female
試験場 Examination room	☐ 水戸キャンパス Mito campus ☐ 日立キャンパス Hitachi campus		

写 真 票
Applicant's Photograph

入学区分 Desired month of enrollment	平成 27 年 10 月 (October 2015)		写真・Photo 縦 4cm × 横 3cm 写真のウラに氏名 を記入すること Write your name on the back of the photo
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
受験番号 Examinee No.	※		
志望専攻 Desired Major	専 攻 Major		
フリガナ 氏 名 Name		☐ 男 Male ☐ 女 Female	

注意 Note

- ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.
- 氏名は、住民票又はパスポートのとおり記入してください。
「Name」 must be as given in the Resident Certificate or Passport.
- 写真は、縦 4 c m × 横 3 c m 正面上半身無帽で、出願 3 か月以内に撮影したもの。
Photograph must be 3 cm × 4 cm in size and taken within 3 months before submission of the form.

修士学位論文要旨・研究経過報告書

Summary of Master's Thesis or Progress Report of Master Program Research

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月入学 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

注 Note ※印欄は、記入しないでください。 ※ Leave blank.

氏 名 Name		志 望 専 攻 名 Desired Major		受 験 番 号 Examinee No.	※

研究及び業務上の業績調書
Research and Career Achievement Records

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月入学 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

- ◎ 下記の事項を横書で記入してください。(鉛筆使用不可)
Please fill in the following information. Please do not use a pencil when filling this form.
- 1. 学術論文・研究報告・特許等の名称。 Scientific publications • Research reports •Numbers of patents
 - 2. 発行又は発表年月。 Year of publication or presentation.
 - 3. 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称。 Name of publishers, scientific journals or conferences
 - 4. 全著者名。 Names of all authors.
 - 5. その他。 Other information.

茨城大学大学院理工学研究科
The Graduate School of Science and Engineering, Ibaraki University

注 Note 1. 用紙が不足する場合は、コピーして使用してください。
Additional sheets of paper may be attached if necessary.
2. ※印欄は、記入しないでください。 ※ Leave blank.

入学後研究概要

Summary of Intended Research

No.1

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月入学 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

注 Note ※印欄は、記入しないでください。 ※ Leave blank.

受 験 番 号	※
入 学 区 分	平成 28 年 4 月入学

※欄は、記入しないでください。

承 諾 書

受 験 者 氏 名 _____

茨 城 大 学 長 殿

上記の者が茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程の入学試験を受験することを承諾いたします。

平成_____年 _____月_____日

住 所（所在地） 〒 _____

勤 務 先 名 _____

職 名 _____

氏 名 _____ 印

在職期間証明書 Certificate of Professional Career / Employment

現 住 所 〒 —
Present Address

受 験 者 氏 名
Name of Applicant

入学区分 Desired month of enrollment	平成 28 年 4 月入学 (April 2016)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		

注 Note ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.

Month _____ 月 Date _____ 日 / Year _____ 年

所属機関名（事業所名） Name of Institution/Company	
職 種 Position of Applicant	
在職期間 又は 在職した期間 Period in employment	自 月 日 年 Since Month _____ Date _____ / Year _____ ~ 至 月 日 年 Until Month _____ Date _____ / Year _____

住 所（所在地） 〒 —
Address of Institution/company

勤 務 先 名
Name of institution/company or employer

職 名
P o s i t i o n
英語

氏 名
Name (Signature)

_____ (印)

入学試験出願資格認定審査申請書

Application Form for Applicant's Eligibility

提出日 Filing date : 月(Month) _____ 日(Date) _____ 年(Year) _____

入学区分 Desired month of enrollment	平成 27 年 10 月 (October 2015)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
フリガナ 氏 名 Name			性別 Sex ☐ 男 Male ☐ 女 Female
生年月日 Date of birth	_____ (Age 歳) 月 (Month) 日 (Date) 年 (Year)		
志望専攻名 Desired major			
志望主要研究分野 Desired research field			
志望指導教員名 Expected supervisor			
出身校 School attending/attended	大学 University	卒業・卒業見込 Date of (expected) Graduation	
	学部 Faculty	年(西暦) Year	
	学科 Department	月 Month	
	大学大学院 University	修了・修了見込 Date of (expected) Graduation	
	研究科 Graduate school	年(西暦) Year	
	専攻(修士・博士)課程 Major of master's program	月 Month	
勤務先 Name of company or employer			
現住所 Present address	〒 _____	電話 Phone	
認定通知書等の 受信場所 Result notification address	〒 _____	電話 Phone	

注意 Note 1. ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.
 2. 「認定通知書等の受信場所」は、入学決定までの通知を受ける場所を記入し、変更した場合は、速やかに届け出てください。
 If there are any changes in the result notification address, please inform the University immediately.
 3. 志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。
 Please contact in advance the expected supervisor.

入学試験出願資格認定審査調書
Summary of Previous Research Activities

フリガナ 氏 名 Name			受験番号 Examinee No.	※
現 職 Present Position		生年月日 Date of Birth	月 (Month) 日 (Date) 年 (Year) (Age 歳)	

学 歴・Educational background	
自 年／月～至 年／月 Year／Month～Year／Month	事 項・Names of schools attended
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	

職 歴 (研究・開発等の業務内容がわかるように詳しく記入すること。) Employment records (Fill in details about research and development employment)	
自 年／月～至 年／月 Year／Month～Year／Month	事 項・Names of Companies/Institutions, subjects of research and development
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	

学会及び社会における活動等・Scientific Society and Social Activities	
自 年／月～至 年／月 Year／Month～Year／Month	事 項・Matters engaged
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	

注意 Note ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.

宛名票

Address Slip

注意

Caution

合格通知書・入学手続き類等の郵送に
利用します。住所はかならず受け取る
ことのできる場所を記入してください。

Please fill in the address where you wish
to receive the Result Notification Notice
and other admission related documents.

氏名はかならず志願者本人の氏名を
記載してください。

Name must be the name of applicant
him/herself.

必ずすべての宛名票を記入し、受験番
号欄にはなにも記入しないでください。

Please fill in all of Address Slips. And
Don't fill in "Examinee's No" cell.

--	--	--	--	--	--	--

殿

受験番号

Examinee's No

※この欄は記入しないでください (No need)

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

殿

殿

受験番号

Examinee's No

※この欄は記入しないでください (No need)

受験番号

Examinee's No

※この欄は記入しないでください (No need)

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

*2015年4月時点の画像です。

LAWSON

Loppi

MINI STOP

Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。



申込・請求

学び・教育

各種(入学検定料等)お支払いサービス

サークルKサンクス

Kステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



「学び・申込」

各種(入学検定料等)のお支払い

茨城大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)を受け取ってください。

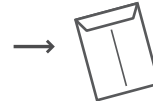
*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
	入学検定料が5万円以上	648円



3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。



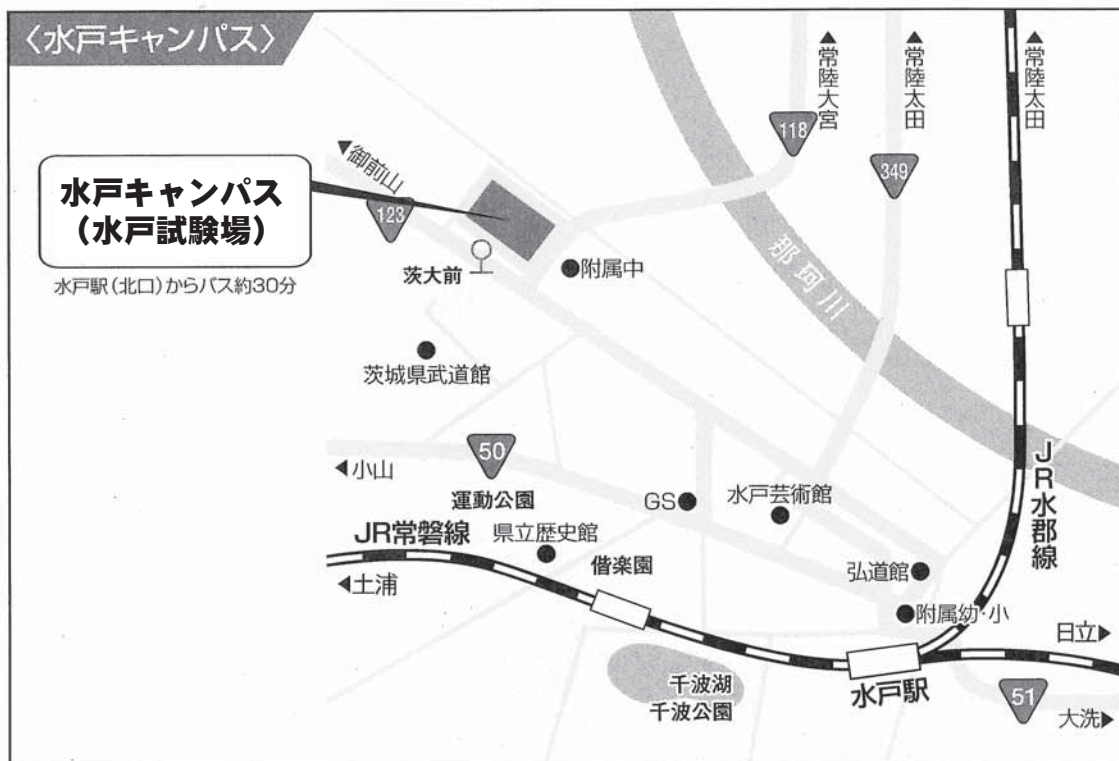
◎試験場等案内

水戸キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/index.html>

日立キャンパス

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/hitachi/index.html>



水戸駅北口のりば ⑦番 栄町経由 茨大行き 「茨大前」もしくは「茨大正門前」下車
⑥番 新原経由 茨大行き 「茨大前」もしくは「茨大正門前」下車



茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<http://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

(出願窓口：水戸)

〒310-8512 水戸市文京 2 丁目1番1号

TEL:029-228-8332

(出願窓口：日立)

〒316-8511 日立市中成沢町 4 丁目 1 2 番 1 号

TEL:0294-38-5010